

第52期(’14年1月期)  
第2四半期 決算短信  
補足説明資料



2013年9月6日

<http://www.artner.co.jp/>

株式会社 **アルトナー**

# I 第52期（'14年1月期）第2四半期 決算概要

### ◆市場環境

- ・わが国経済は、円安傾向による輸出環境の改善や政府の経済対策の効果により、持ち直し。
- ・家電業界においては、事業構造改革に伴い技術者ニーズに変化も見受けられる。

### ◆売上高

- ・技術者派遣事業は前年増減率3.0%減となり、請負事業においては、技術者の技術者派遣事業への戦略的シフトに伴い70.7%減となり、全社では7.0%減となる。

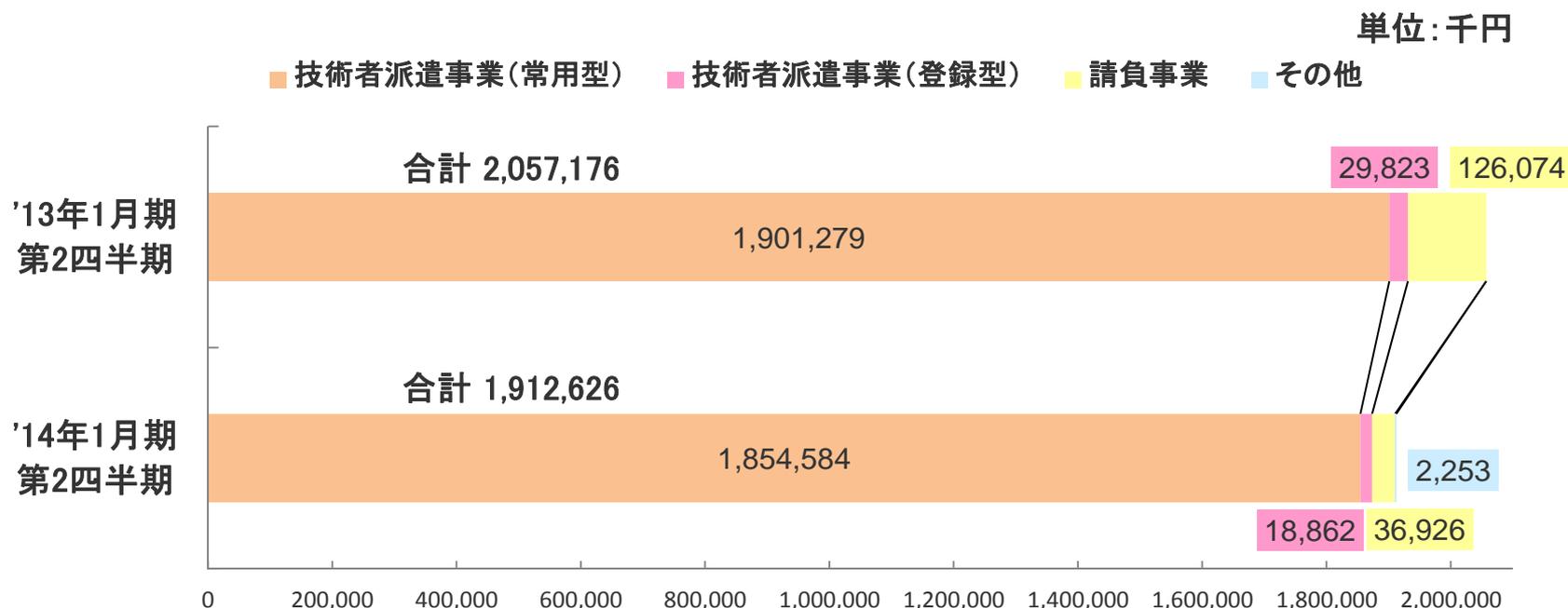
### ◆費用面

- ・キャリア採用における積極的な投資、新事業モデル制度への移行に伴うHA事業本部の成果報酬型の賃金体系への変更、EG事業本部の寮制度の変更に伴い、費用増となる。

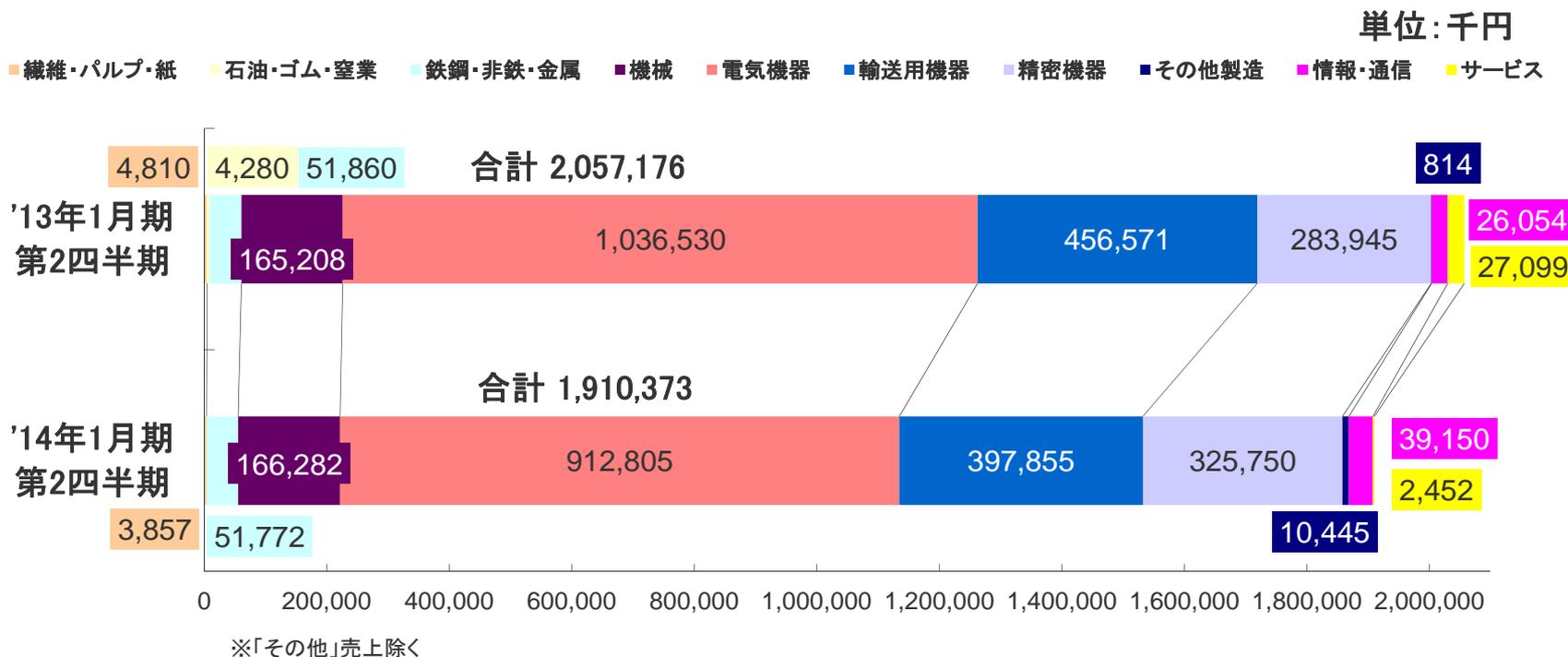
売上高は前年増減率7.0%減、営業利益は65.1%減、  
経常利益は64.6%減、四半期純利益は79.0%減。営業利益率は4.4%。

	'13年1月期 第2四半期		'14年1月期 第2四半期		前年 増減値 (千円)	前年 増減率 (%)
	実績 (千円)	百分比 (%)	実績 (千円)	百分比 (%)		
売上高	2,057,176	100.0	1,912,626	100.0	▲ 144,549	▲ 7.0
売上原価	1,350,419	65.6	1,294,336	67.7	▲ 56,083	▲ 4.2
売上総利益	706,756	34.4	618,290	32.3	▲ 88,465	▲ 12.5
販管費	464,980	22.6	533,876	27.9	68,896	14.8
営業利益	241,775	11.8	84,413	4.4	▲ 157,362	▲ 65.1
経常利益	243,739	11.8	86,178	4.5	▲ 157,560	▲ 64.6
四半期純利益	266,636	13.0	55,944	2.9	▲ 210,691	▲ 79.0

技術者派遣事業は、前年増減率3.0%減。  
 （■ 常用型は前年増減率2.5%減、■ 登録型は36.8%減）  
■ 請負事業は、前年増減率70.7%減。



全体における構成比が合計85.7%を占める  
 ■ 電気機器、■ 輸送用機器、■ 精密機器において、  
 それぞれ、前年増減率11.9%減、12.9%減、14.7%増。



■ 第52期('14年1月期) 第2四半期決算概要 顧客企業別 売上高(数値)

	'13年1月期 第2四半期	
	実績 (千円)	構成比 (%)
1 パナソニック	292,529	14.2
2 ニコン	186,172	9.0
3 富士重工業	114,583	5.6
4 ジヤトコ	85,358	4.1
5 トヨタ自動車	71,193	3.5
6 日本信号	69,281	3.4
7 アドヴィックス	63,956	3.1
8 矢崎部品	58,812	2.9
9 東京エレクトロン宮城	54,892	2.7
10 イビデン	53,041	2.6
上位10社 計	1,049,822	51.0
その他 計	1,007,353	49.0
合計 計	2,057,176	100.0

※敬称略

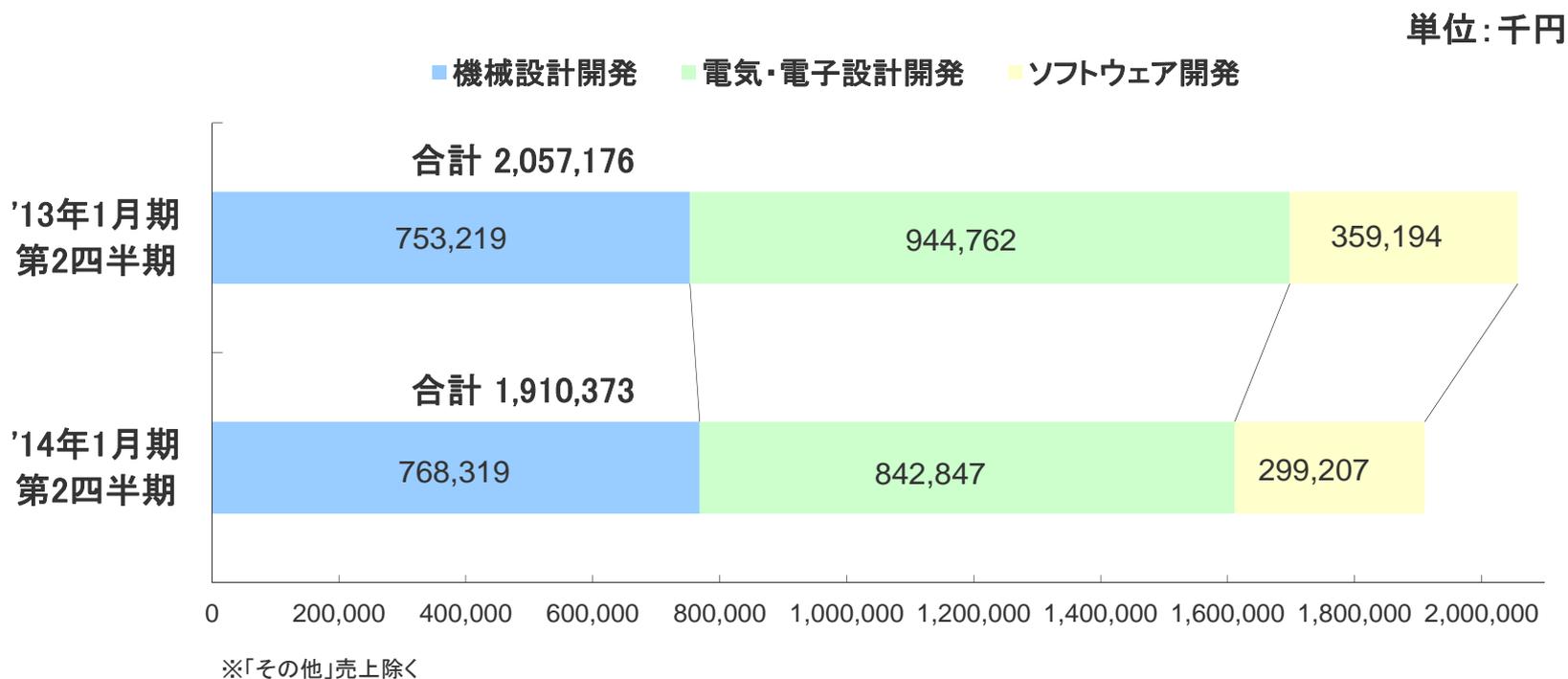
※「その他」売上除く

	'14年1月期 第2四半期	
	実績 (千円)	構成比 (%)
1 パナソニック	259,731	13.6
2 ニコン	206,608	10.8
3 富士重工業	92,211	4.8
4 テルモ	90,747	4.8
5 トヨタ自動車	68,696	3.6
6 矢崎部品	68,527	3.6
7 本田技術研究所	50,490	2.6
8 小松製作所	45,883	2.4
9 ジヤトコ	39,116	2.0
10 東芝	38,343	2.0
上位10社 計	960,355	50.3
その他 計	950,017	49.7
合計 計	1,910,373	100.0

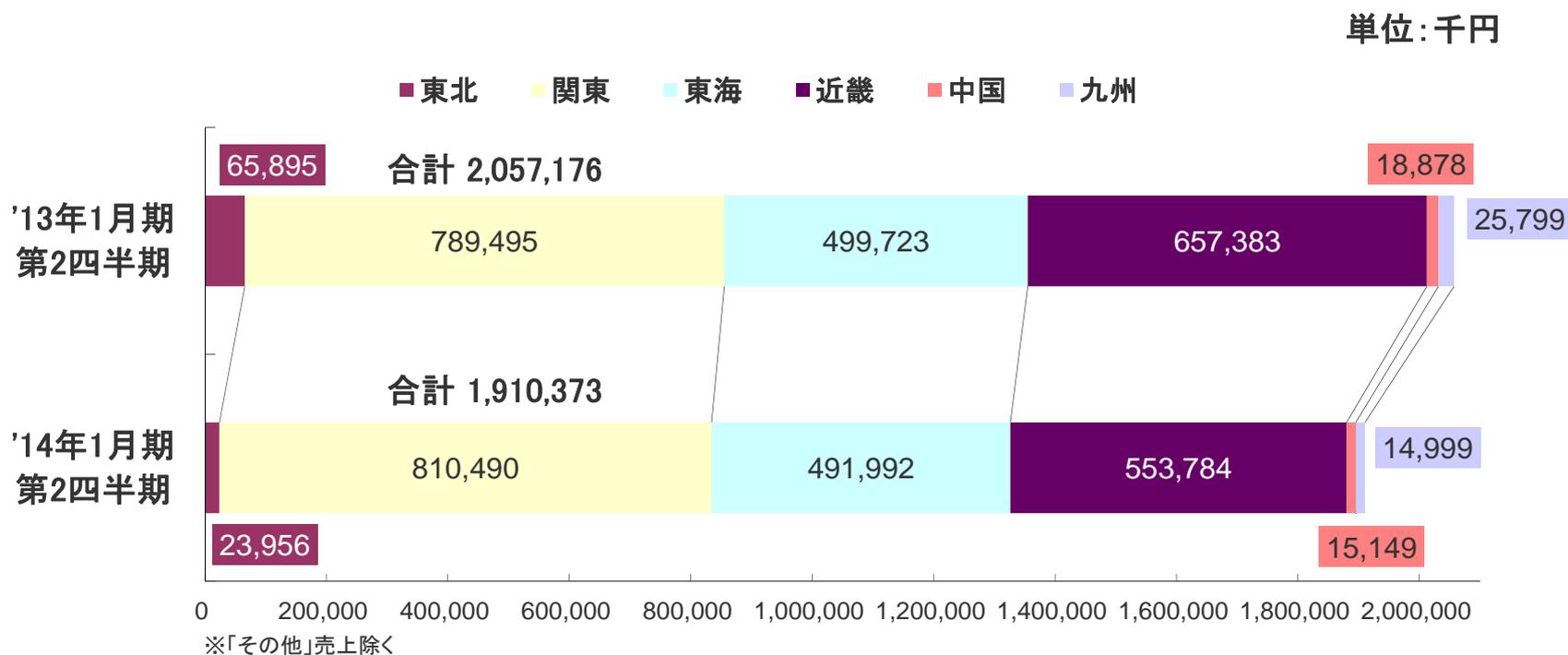
※敬称略

※「その他」売上除く

■ 機械設計開発、 ■ 電気・電子設計開発、 ■ ソフトウェア開発は、それぞれ、前年増減率2.0%増、10.8%減、16.7%減。

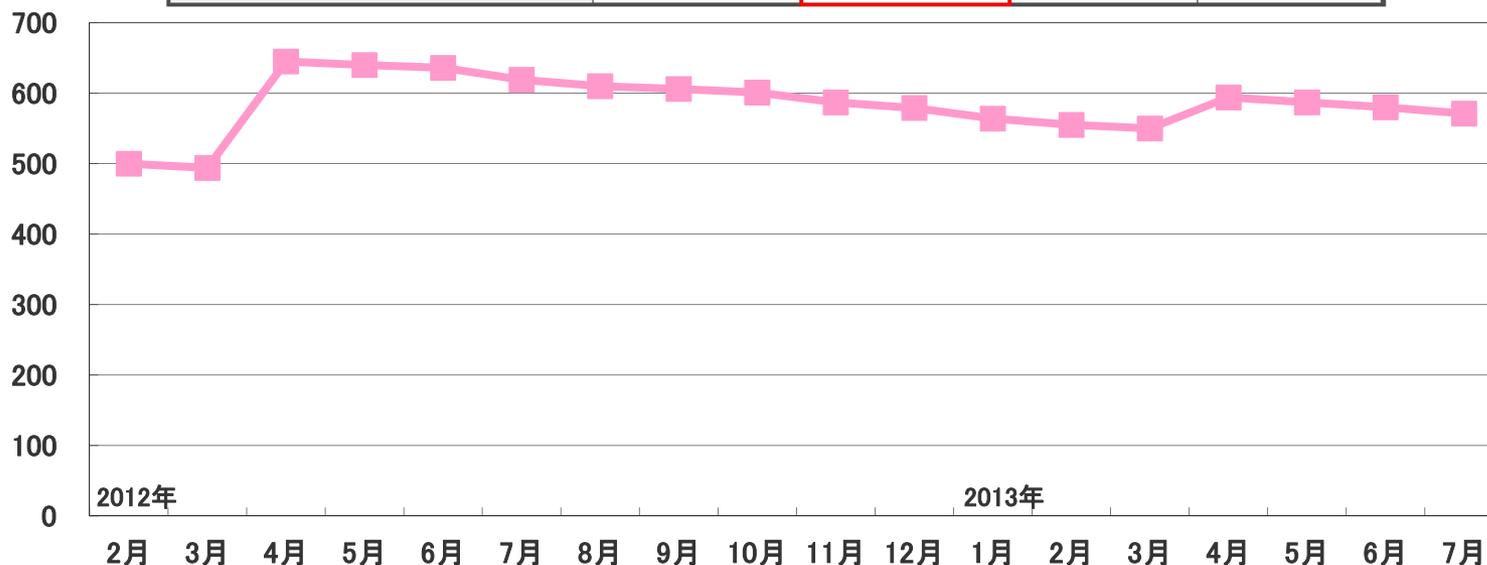


関東、東海、近畿において、全体における構成比は、42.4%、25.8%、29.0%となり合計97.2%。



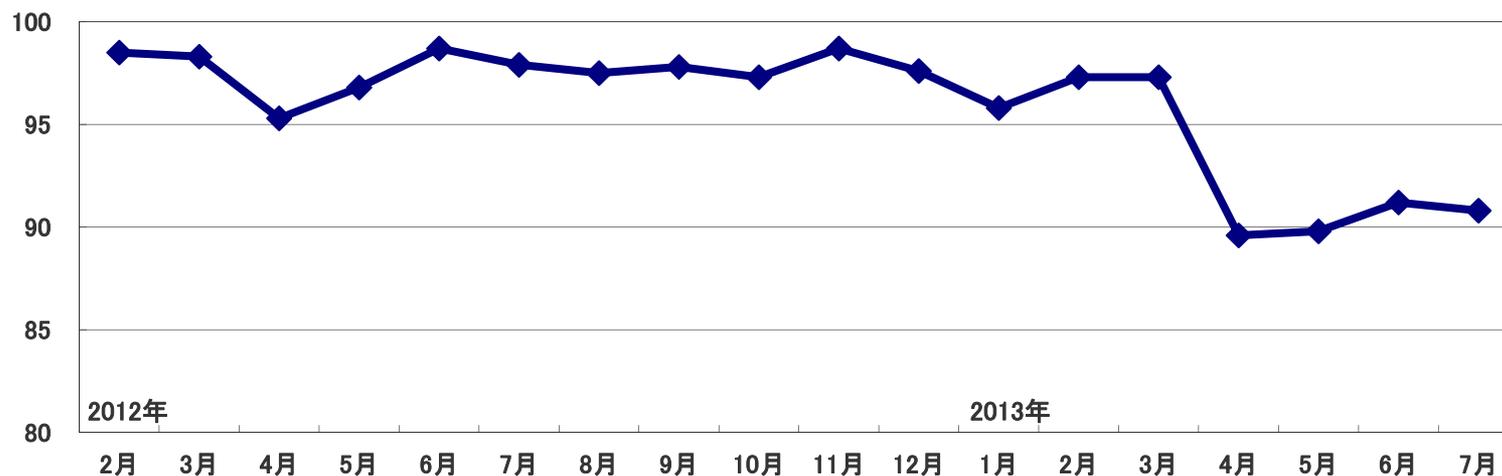
技術者の質の底上げを図るため、新採用基準を導入し、  
2013年4月入社の子卒技術者を絞り込んだ結果、前年増減率2.7%減。

	'13年1月期 第2四半期 平均 (人)	'14年1月期 第2四半期 平均 (人)	前年 増減値 (人)	前年 増減率 (%)
期末技術者数	589	573	▲ 16	▲ 2.7



顧客企業の先行開発予算が堅調に推移するが、事業構造改革に伴い技術者ニーズに変化も見受けられ、前年増減値5.0pt減。

	'13年1月期 第2四半期 平均 (%)	'14年1月期 第2四半期 平均 (%)	前年 増減値 (pt)
稼働率	97.6	92.6	▲ 5.0



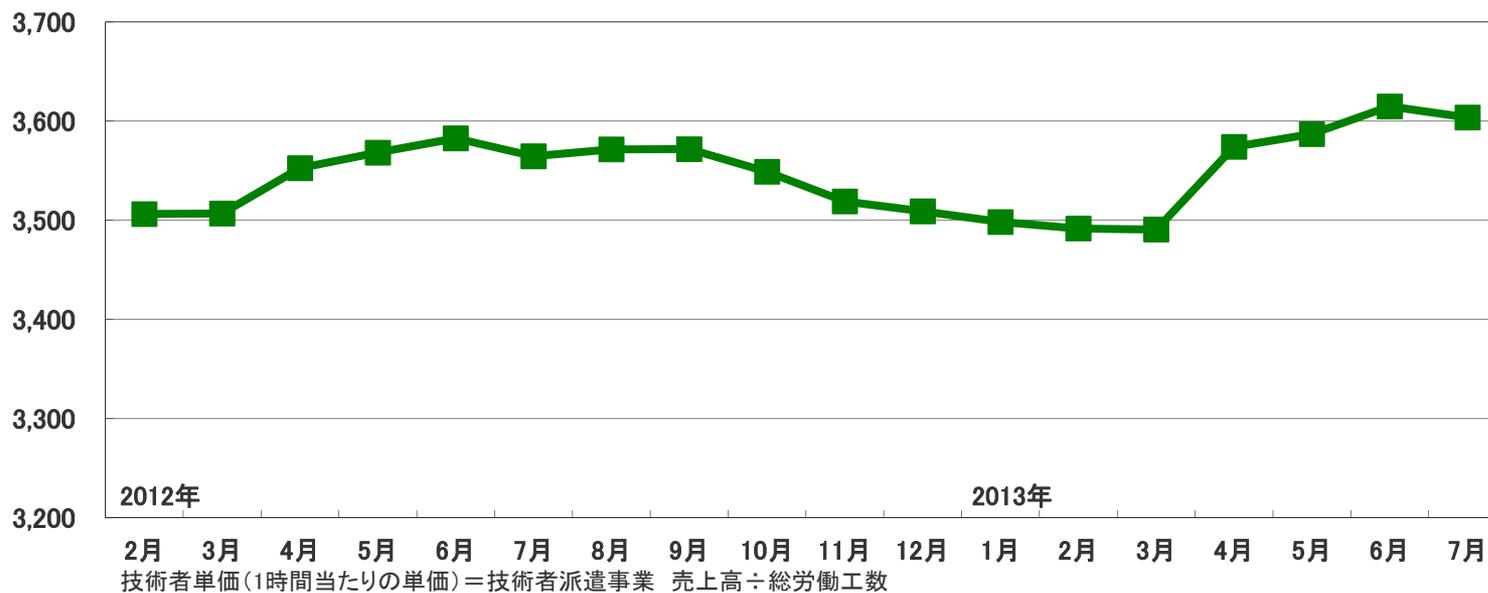
稼働率(%) = 派遣稼動人員数 ÷ 派遣対象在籍人員数

※ 学卒技術者等の期中入社者は、配属までは含んでおりません。

※ HR事業本部は含んでおりません。(HR事業本部…技術者の採用・研修を目的とする。)

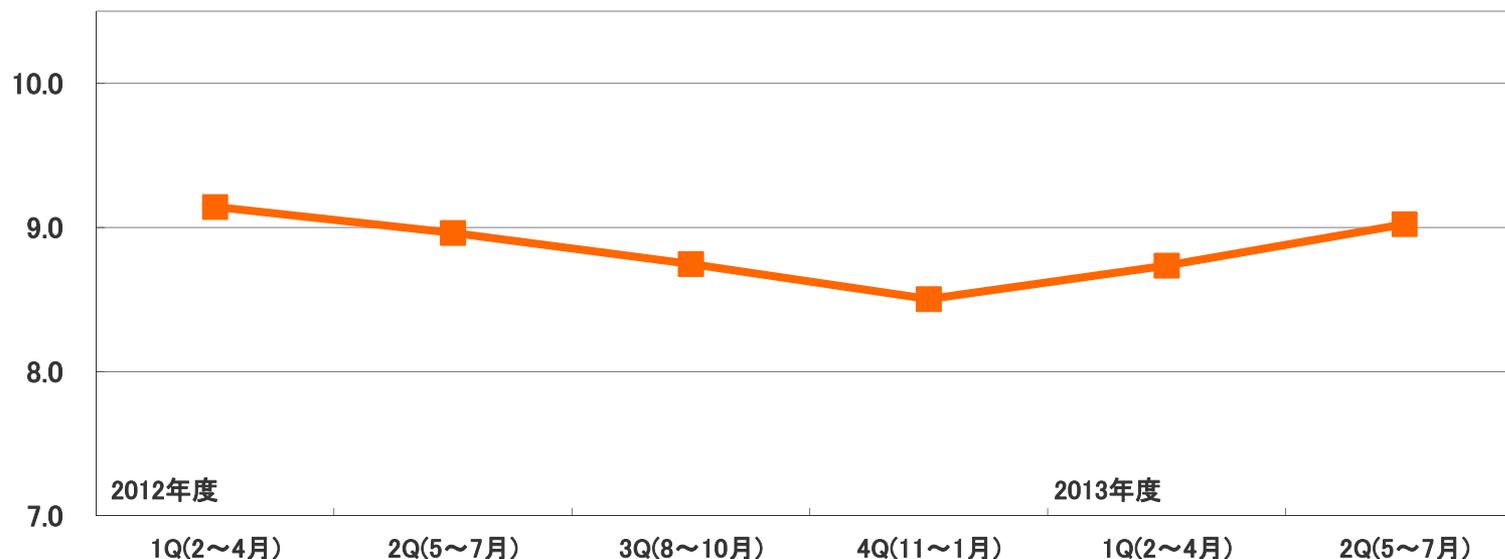
高いスキルを有する技術者の高付加価値な業務への配属が進捗したことにより、前年増減率0.4%増。

	'13年1月期 第2四半期 平均 (円)	'14年1月期 第2四半期 平均 (円)	前年 増減値 (円)	前年 増減率 (%)
技術者単価	3,546	3,560	14	0.4



顧客企業の先行開発予算が堅調に推移するが、事業構造改革に伴い技術者ニーズに変化も見受けられ、前年増減率1.9%減。

	'13年1月期 第2四半期 平均 (h)	'14年1月期 第2四半期 平均 (h)	前年 増減値 (h)	前年 増減率 (%)
1日当たり労働工数	9.05	8.88	▲ 0.17	▲ 1.9



## Ⅱ 第52期（'14年1月期）業績予想の進捗

第2四半期実績は、業績予想（通期）に対して、進捗率は  
売上高47.2%、営業利益38.2%、経常利益39.0%、当期純利益41.5%。

	業績予想				実績		達成・進捗率	
	'14年1月期 第2四半期		'14年1月期 通期		'14年1月期 第2四半期		第2四半期 達成率 ③÷① (%)	通期 進捗率 ③÷② (%)
	① (百万円)	百分比 (%)	② (百万円)	百分比 (%)	③ (百万円)	百分比 (%)		
売上高	1,990	100.0	4,052	100.0	1,912	100.0	96.1	47.2
営業利益	73	3.7	220	5.5	84	4.4	114.5	38.2
経常利益	73	3.7	220	5.4	86	4.5	117.3	39.0
当期純利益	45	2.3	134	3.3	55	2.9	122.1	41.5



## Ⅲ 中期経営計画(2014年1月期～2016年1月期)の進捗



事業モデルを刷新し、リーマンショックからの  
本格回復を期し、更なるステージアップに挑む

より良い採用こそがすべての入り口

2013年2月より、4事業本部を設置

利益単価の回復

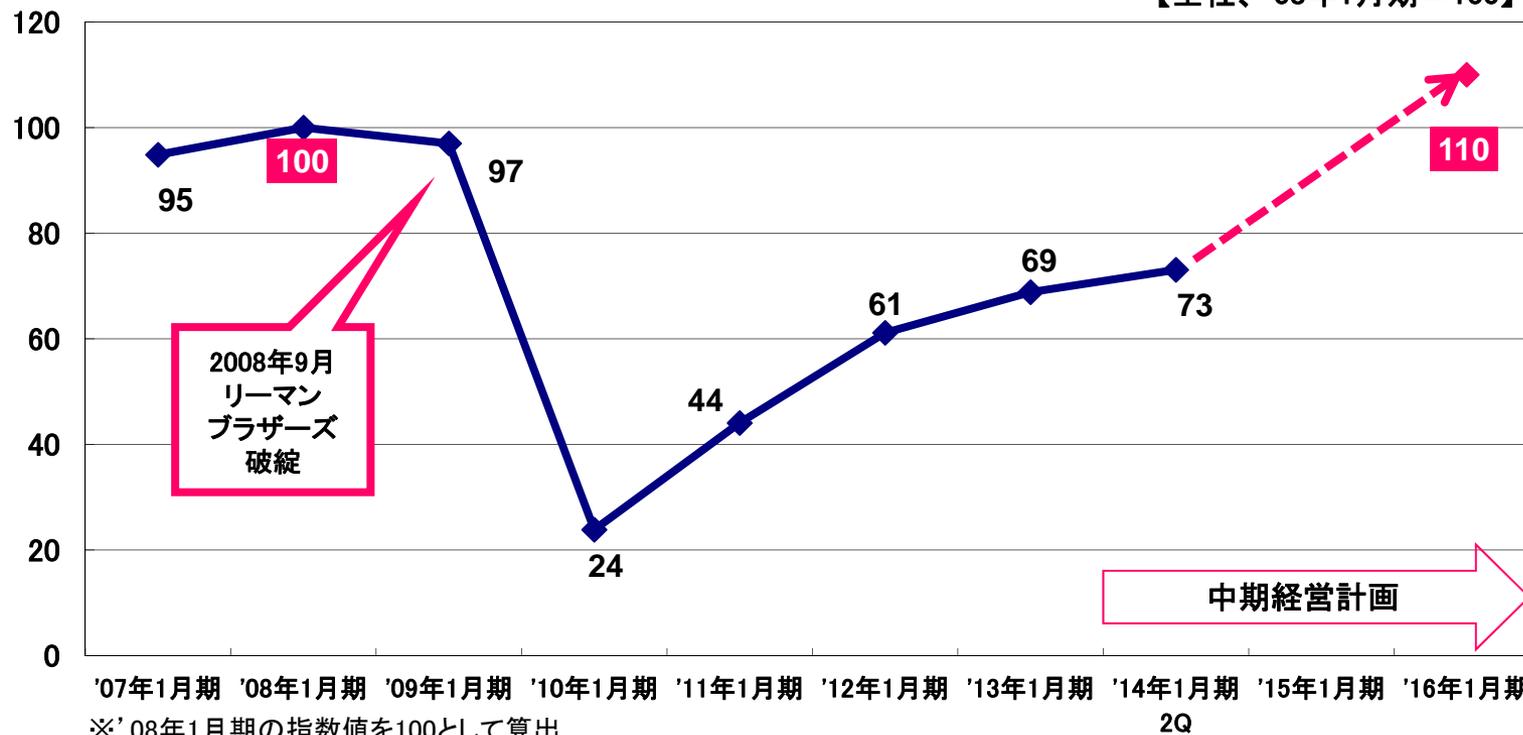
技術者数の回復

※利益単価 = 当社内で、独自に管理している技術者1人当たり、1時間当たりの単価に占める利益

※利益単価 = 当社内で、独自に管理している技術者1人当たり、1時間当たりの単価に占める利益

- ・'13年1月期末比で、'14年1月期第2四半期末の利益単価は、HA事業本部においては順調に伸長したものの、全社では微増。
- ・HA事業本部の成功モデルを全社的に波及させていくことが課題。

【全社、'08年1月期=100】



## ◆実施施策

- ・エキスパート職の技術者が部下のスキルを管理し、教育を着実に実施。
- ・顧客企業とエキスパート職で定期的に「顧客満足面談」を実施。
- ・技術者のモチベーション向上のため、2013年2月～HA事業本部への成果報酬制度の導入。
- ・質の高い2013年4月入社 学卒技術者の確保のため新採用基準の導入。

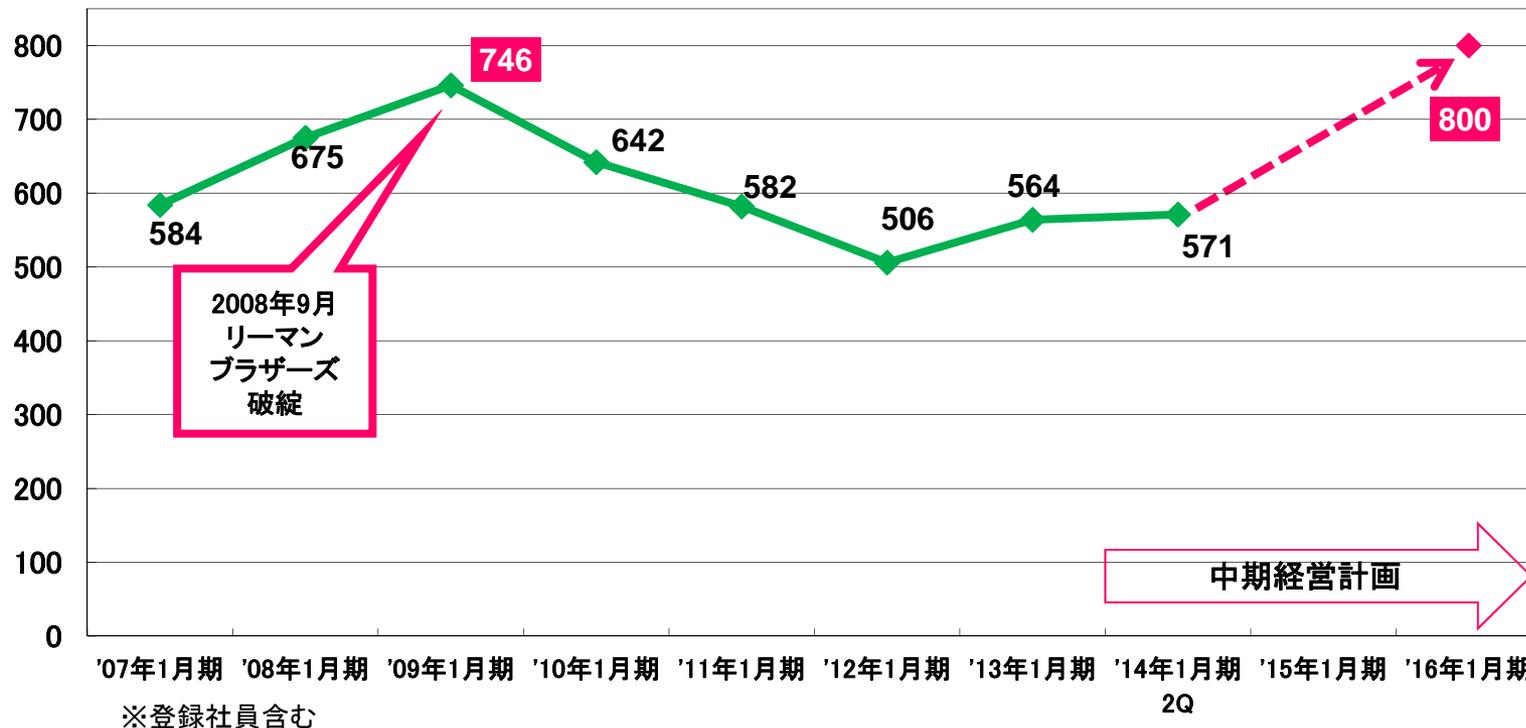


## ◆成果

- ・エキスパート職が配属されているチームに、学卒技術者を例年を上回る高単価で配属。
- ・ハイエンド業務への配属が進捗。

- ・新たに設置した4事業本部制度に関して、各大学の学生・教授・就職窓口に対してPR訪問を実施し、採用母集団を拡大。  
また、社員定着率の向上に努め、技術者数の回復を図る。

【期末時点、単位：人】





### ◆エンジニアエージェンシー(EA)事業本部の人材紹介制度の特長

- ・将来的にメーカーへの転職を希望する技術者が、当社に入社と同時に、EAの人材紹介制度に登録し、サポートを受けることができる。

### ◆新卒採用への効果

- ・これまで技術者派遣という業態に関心が薄く、当社への入社に結び付いていなかった学生層が関心を持つきっかけとなる。

### ◆人材紹介の実績

- ・EAに登録したアルトナー社員の手先メーカーへの紹介成立。
- ・技術者派遣事業において構築した既存の顧客企業との関係を活かして、技術者の転職希望条件にマッチングする求人案件を獲得。

### ◆2014年度～

当社の社員以外の外部登録者の受付をスタートし、事業拡大にも努める。

成熟産業から成長産業へ人材をいかにスムーズに移行できるかが、今後の当社の成長の鍵。

### 現状



### 今後

- ・従来の3分野の枠組みや「化学・バイオ」の位置付けを変更していく可能性。
- ・政府が戦略産業として育成を推進している医療機器等の成長産業への取り組み強化。

具体化のため、新卒・キャリア採用の目標数を設定し、分野別の技術者バランスも適正化させていく

## IV 参考資料

■ 第52期（'14年1月期） 第2四半期決算概要 事業別 売上高(数値)

		'13年1月期 第2四半期		'14年1月期 第2四半期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (%)
		実績 (千円)	構成比 (%)	実績 (千円)	構成比 (%)		
	常用型	1,901,279	92.4	1,854,584	97.0	▲ 2.5	4.5
	登録型	29,823	1.4	18,862	1.0	▲ 36.8	▲ 0.5
技術者派遣事業		1,931,102	93.9	1,873,447	98.0	▲ 3.0	4.1
請負事業		126,074	6.1	36,926	1.9	▲ 70.7	▲ 4.2
小計		2,057,176	100.0	1,910,373	99.9	▲ 7.1	▲ 0.1
その他		—	—	2,253	0.1	—	—
合計		2,057,176	100.0	1,912,626	100.0	▲ 7.0	—

■第52期('14年1月期) 第2四半期決算概要 業種別 売上高(数値)

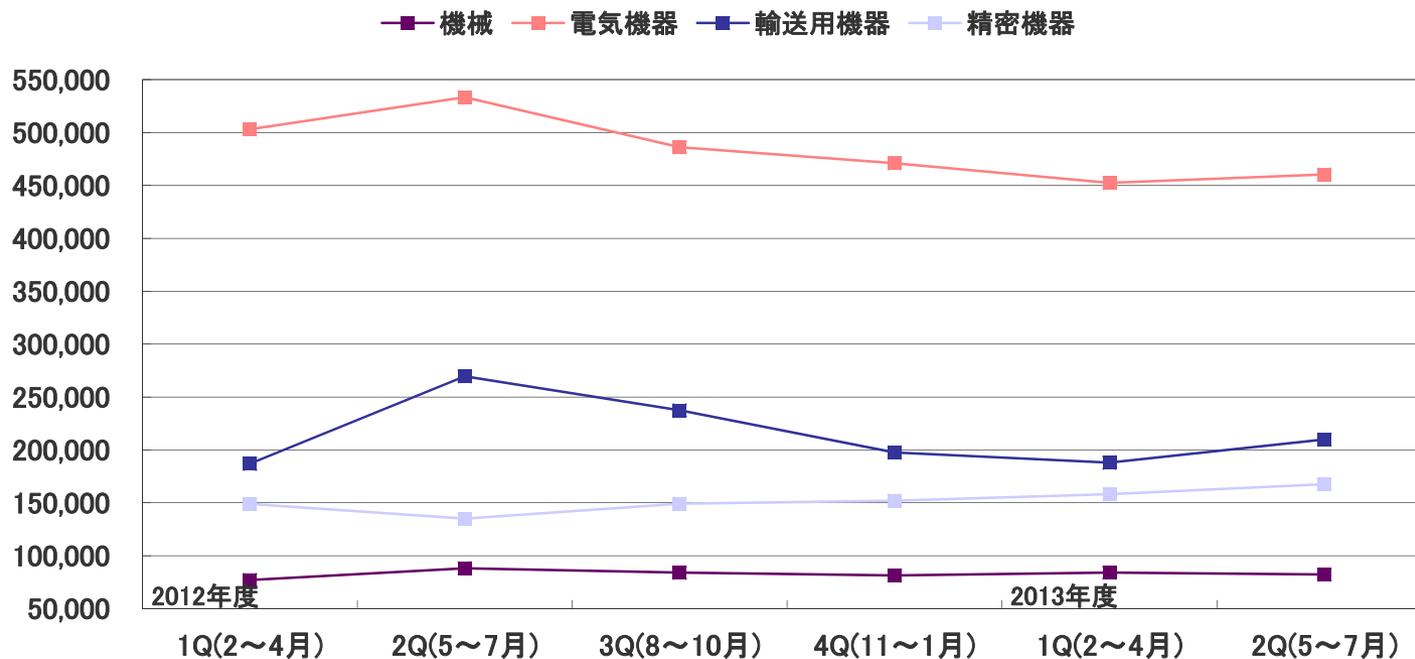
	'13年1月期 第2四半期		'14年1月期 第2四半期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (%)
	実績 (千円)	構成比 (%)	実績 (千円)	構成比 (%)		
繊維・パルプ・紙	4,810	0.2	3,857	0.2	▲ 19.8	▲ 0.0
石油・ゴム・窒業	4,280	0.2	—	—	—	—
鉄鋼・非鉄・金属	51,860	2.5	51,772	2.7	▲ 0.2	0.2
機械	165,208	8.0	166,282	8.7	0.7	0.7
電気機器	1,036,530	50.4	912,805	47.8	▲ 11.9	▲ 2.6
輸送用機器	456,571	22.2	397,855	20.8	▲ 12.9	▲ 1.4
精密機器	283,945	13.8	325,750	17.1	14.7	3.2
その他製造	814	0.0	10,445	0.5	1,181.9	0.5
情報・通信	26,054	1.3	39,150	2.0	50.3	0.8
サービス	27,099	1.3	2,452	0.1	▲ 91.0	▲ 1.2
合計	2,057,176	100.0	1,910,373	100.0	▲ 7.1	—

※「その他」売上除く

# ■ 業種別売上高 四半期推移

単位:千円

	'13年1月期 第1四半期	'13年1月期 第2四半期	'13年1月期 第3四半期	'13年1月期 第4四半期	'14年1月期 第1四半期	'14年1月期 第2四半期
機械	77,063	88,145	83,997	81,319	84,093	82,189
電気機器	503,097	533,433	486,108	471,084	452,442	460,363
輸送用機器	186,910	269,661	237,434	197,574	188,004	209,851
精密機器	148,943	135,002	149,132	152,077	158,119	167,631



■ 第52期('14年1月期) 第2四半期決算概要 分野別 売上高(数値)

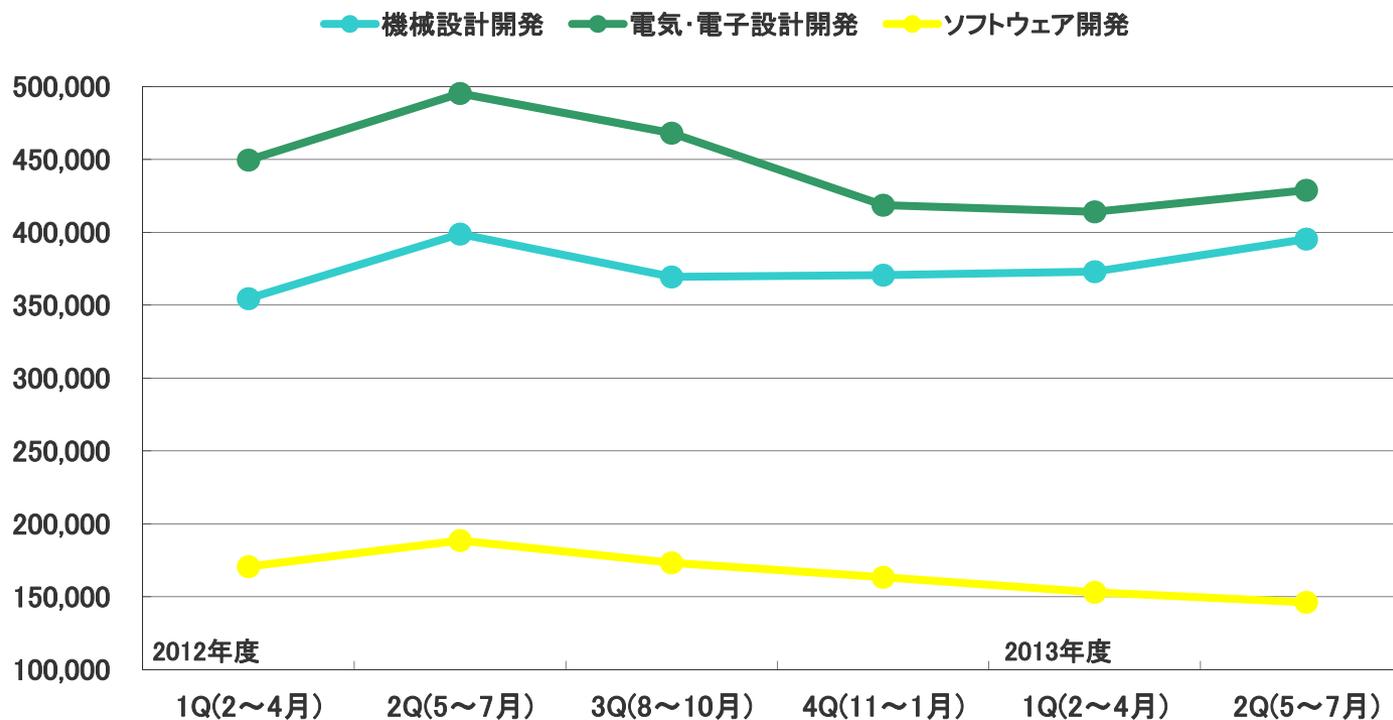
		'13年1月期 第2四半期		'14年1月期 第2四半期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (%)
		実績 (千円)	構成比 (%)	実績 (千円)	構成比 (%)		
機械設計開発	樹脂板金	357,955	17.4	404,388	21.2	13.0	3.8
	機構	212,927	10.4	209,671	11.0	▲ 1.5	0.6
	機器装置	92,559	4.5	68,222	3.6	▲ 26.3	▲ 0.9
	解析	89,776	4.4	86,036	4.5	▲ 4.2	0.1
機械設計開発 計		753,219	36.6	768,319	40.2	2.0	3.6
電気・電子設計開発	電子回路	588,125	28.6	564,816	29.6	▲ 4.0	1.0
	半導体	48,171	2.3	24,306	1.3	▲ 49.5	▲ 1.1
	電気機器	308,465	15.0	253,723	13.3	▲ 17.7	▲ 1.7
電気・電子設計開発 計		944,762	45.9	842,847	44.1	▲ 10.8	▲ 1.8
ソフトウェア開発	制御ソフト	298,671	14.5	228,337	12.0	▲ 23.5	▲ 2.6
	情報処理	60,523	2.9	70,869	3.7	17.1	0.8
ソフトウェア開発 計		359,194	17.5	299,207	15.7	▲ 16.7	▲ 1.8
合計		2,057,176	100.0	1,910,373	100.0	▲ 7.1	—

※「その他」売上除く

## ■分野別売上高 四半期推移

単位：千円

	'13年1月期 第1四半期	'13年1月期 第2四半期	'13年1月期 第3四半期	'13年1月期 第4四半期	'14年1月期 第1四半期	'14年1月期 第2四半期
機械設計開発	354,461	398,758	369,354	370,580	372,977	395,342
電気・電子設計開発	449,524	495,238	468,009	418,570	414,044	428,803
ソフトウェア開発	170,633	188,561	173,244	163,321	153,039	146,168



# ■第52期('14年1月期) 第2四半期決算概要 地域別 売上高(数値)

	'13年1月期 第2四半期		'14年1月期 第2四半期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (%)
	実績 (千円)	構成比 (%)	実績 (千円)	構成比 (%)		
東北	65,895	3.2	23,956	1.3	▲ 63.6	▲ 1.9
関東	789,495	38.4	810,490	42.4	2.7	4.0
東海	499,723	24.3	491,992	25.8	▲ 1.5	1.5
近畿	657,383	32.0	553,784	29.0	▲ 15.8	▲ 3.0
中国	18,878	0.9	15,149	0.8	▲ 19.8	▲ 0.1
九州	25,799	1.3	14,999	0.8	▲ 41.9	▲ 0.5
合計	2,057,176	100.0	1,910,373	100.0	▲ 7.1	—

※地域区分

※「その他」売上除く

北海道

東北…青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県

関東…茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

北陸…富山県、石川県、福井県

東海…静岡県、愛知県、岐阜県、三重県

近畿…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国…鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国…徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州…福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

沖縄

## ◆本資料のお取り扱い

- ・本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。
- ・本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じる事がありますのでご承知ください。

## ◆お問い合わせ先

株式会社 アルトナー 経営戦略本部 IR・PRグループ  
TEL : 045 - 470 - 5663 / E-mail : ir@artner.co.jp

## ◆IRメール配信 登録URL

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の更新、決算、ニュースリリース、その他、重要事項の最新情報を、Eメールにて配信いたします(無料)。[\[登録URL\] http://www.artner.co.jp/ir/mail/](http://www.artner.co.jp/ir/mail/)

